

RINKU SMILE



地方独立行政法人 りんくう総合医療センター ●院内・院外広報誌

発行・責任者：広報・年報編集委員長 増田 大作 / 〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地の23
TEL: 072-469-3111(代) FAX: 072-469-7929 http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/ 発行日：2023年2月3日

CONTENTS

今年のテーマは

01 年頭のご挨拶「夢」

理事長 山下静也

病院長 松岡哲也

副病院長 烏野隆博
臨床研修センター長

内部統制本部長 上田和規

副病院長 種村匡弘
診療支援局長

診療局長 船津俊宏

大阪府泉州救命
救急センター所長 中尾彰太

統括看護局長 鈴木千晶

事務局長 家宮久雄

05 新型コロナウイルス (COVID-19)特集 ～当センターの対応～

06 地域医療連携 大阪府済生会新泉南病院・せんなん薬局/泉州広域母子医療センター

07 病院TOPICS 新入職員紹介/糖尿病フェスタ/精度認定施設認定/メディア掲載情報/ご寄附のお願い

08 外来診療予定表

Photo by T.M. 『角島大橋と角島』

2019年末から世界に広まったCOVID-19感染症も3年が経過し、最近では第8波が始まっています。激的な症状を呈する他のコロナウイルス感染症とは異なり、SARS-CoV-2ウイルスの症状は激烈ではありませんが、無症状期でも他に感染させる性質があることから、完全な封じ込めは困難で数年以上かかると予測しており、その通りとなっています。当センターでは感染症内科を中心に、COVID-19肺炎の重症・中等症の患者に加えて、大阪府内からも対応困難な透析患者や関西空港検疫経由の外国人患者も多数受け入れました。ワクチン接種が進んだ現在、抗ウイルス薬、中和抗体薬、抗炎症薬等も多く開発され、国産のエンシトレビルも最近特例承認されました。最近では感染者は多いものの以前見られた重症肺炎患者は確実に減少し、海外からの旅行者も増えてやっとなり活気のある社会に戻りつつあり、希望の灯火が見えてきました。一方、2022年2月に始まったウクライナでの戦争の全世界への影響は甚大で、燃料費高騰などで物価は全世界で上昇して生活が大変な状況になっています。

明るい話題といえば、昨年に引き続きMLBの大谷翔平選手が二刀流で大活躍したこと、年末のサッカーワールドカップで日本代表が強豪ドイツ、スペインに勝利してグループEでトップ通過となったことでしょうか。結果的にはPK戦でベスト8には勝ち上がりましたが、久しぶりに明るい話題で日本中が盛り上がりました。

当センターはコロナ禍でも、可能な限り通常の診療や循環器疾患・脳卒中・外傷も含めた救急対応を続けてきましたが、今後はウイルスコロナに向けた診療レベルの更なる充実に重点を置いていく所存です。昨年は従来から期待されていた常勤眼科医が赴任し、各科のスタッフも充実させることができました。特に、循環器内科は阪大から常勤医が派遣され、冠動脈疾患だけではなく末梢動脈疾患のカテーテル治療、不整脈のカテーテルアブレーション、心不全、脂質異常症患者への専門的対応など、全ての循環器疾患に迅速に対応できる体制が整い、業績が顕著に上がってきています。

「新年明けましておめでとうございませう」

ご挨拶「夢」

理事長

山下 静也

